

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	人工心肺中の高血糖が吸入麻酔薬の心筋保護効果に与える影響についての検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	山田 健太
研究期間	2025年1月 ～ 2026年12月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2025年1月10日）
対象者	2020年1月より2024年12月までの5年間に当院心臓血管外科の手術で人工心肺を使用した患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	吸入麻酔薬であるセボフルランは、人工心肺使用中には人工肺を通じて吸収され、その作用を發揮します。この薬剤は、心臓手術時に心筋を保護する目的で使用されます。その具体的な効果として、止めた心臓を再び動かす際に生じる不整脈（再灌流性心室性不整脈）の抑制や、心臓の収縮力（心収縮能）の維持が挙げられます。これらは、プレコンディショニング効果と呼ばれる有益な心筋保護作用に基づいています。現在、人工心肺管理中にセボフルランを送気することで、これらの効果を最大限に引き出す試みが行われています。一方で、吸入麻酔薬の一種であるイソフルランには、糖尿病や高血糖状態によってその効果が抑制されるとの報告があります。しかし、セボフルランに関しては、同様の影響に関する報告はありません。本研究では、人工心肺使用中における高血糖が吸入麻酔薬の心筋保護効果に与える影響を検討します。この結果を基に、今後の人工心肺管理や治療戦略に役立てることで、より優れたプレコンディショニング効果を期待しています。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別、既往歴 など）・採血結果・術式・人工心肺管理データ（時間、最大血糖値 など）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。

資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 臨床工学室 山田健太 代表 054-247-6111